



3 - 1 . デジタル技術で市民中心のまちづくりを支える取り組み 事例：松山市（愛媛県）まちづくりにおけるデータ活用

3-1-1 まちづくりにデータを活用しようと考えた理由

アーバンデザインセンターが主導
する市民参加型まちづくり

施策の効果をいかにKPIで示すかが課題

道後温泉で実現させた雲形アート



花園町で実施した、歩行者空間の
拡充とその活用（移動建築／屋台）



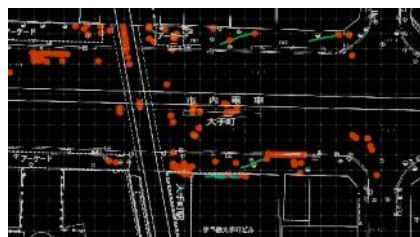
3-1-2 データ駆動型都市プランニング

都市データの可視化により市民参加型の都市プランニングを実現し、
多様な関係者間の合意形成を支援

Data-driven
Urban Planning

データ駆動型都市プランニング

- 人流計測や効果予測の適用により、まちづくり施策の効果的な立案・実行および合意形成に活用
- 都市データ可視化ツールで、人流や交通などの都市データをわかりやすく可視化し、まちづくりへの市民の主体的な参加を支援



● 人流計測データ



● 都市データ可視化ツール
Cyber-PoC for Cities



● 市民ワークショップ



● まちづくりへの反映
(予定)

協創パートナー 松山市、松山アーバンデザインセンター、東京大学、愛媛大学、日産自動車、伊予鉄道、J R 四国



3 - 2 . デジタル技術で市民中心のまちづくりを支える取り組み 事例：国分寺市 住民を中心とした地域活性の実証実験

3-2-1 国分寺の都市農園風景と、こくベジ



住民による地元農産物配送＋地元飲食店利用をデジタルでつなぎ、 地域コミュニティの醸成と地産地消の促進をめざした実証実験

農家による「こくベジ」生産



新田開発の始まった300年
前から続く国分寺の農家
による「こくベジ」栽培

市民の手による流通



イベント参加者への「こくベジ」
無料提供・野菜配送体験

地域飲食店での調理



市民自身が配送した
「こくベジ」を協力飲食店で
調理してもらい味わう

市民が配送する野菜の識別、飲食店の選択と、体験後の共有をうWebアプリを開発



■ デジタル技術で市民中心のまちづくりを支える取り組み

- (1) ありたい姿を描き、共有する
- (2) 共感する人たちを集めて新たな活動・行動を興す
- (3) デジタル技術を活用し新しい行動を無理なく始めて継続する

■ 次なるチャレンジ

「誰もが歳を重ねるごとに新たな豊かさを発見できる社会」

- ✓ 高齢者だけでなく「みんなが歳をかさねていく」という考え方
- ✓ 個人に寄り添い、データの力で価値を享受できる社会
- ✓ 市民・企業・行政の皆様との協創で実現する

3-4 共感する人たちを集め、継続する取り組み

多摩未来協創会議

多摩未来協創会議



多摩エリアにおける経済発展と社会課題解決の両立をめざし、
地域のさまざまな企業、自治体、プレイヤーを巻き込み
社会実装プロジェクトへとつなげていくことをめざす会議体。

STEP 1

対話から問いを立て、
地域課題を共有する場

ダイアログ

地域活動から気づき
を得る「地域×企業」
対談インタビュー



モノログ

社会変化から問いを
抽出する企業の社
内会議インタビュー

多摩未来
協創会議

STEP 2

社会実装に向けて
解を共に考える場

ミートアップ

社会実装に向けた協創会議
レポート。企業に加え、行政や
教育機関、NPO、スタートアッ
プにも広く参画を呼びかける



STEP 3

社会実装
プロジェクト

社会実装
プロジェクト

社会実装
プロジェクト

シンポジウム



みんなでプロジェクトの
成果を発表する場

デジタル多摩シンポジウムを通じた、
各々の活動アピール

STEP 4

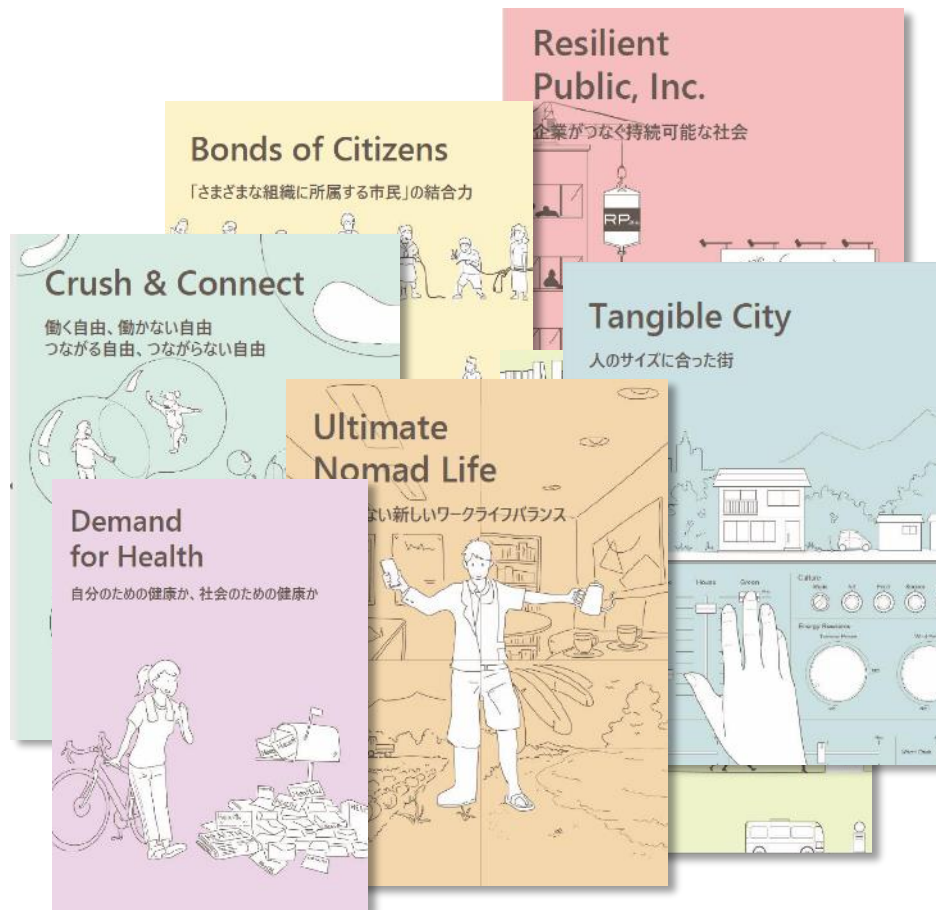
プロジェクトの成果発信も多摩未来協創会議を活用



4. 「協創」とともに創る、未来の社会 みんなのアイデアとデジタルが、社会を変える

4-1 社会の変化のきざしをとらえる

将来社会変化「きざし」 25のきざし 日立 🔍



「BEYOND SMART LIFE」
好奇心が駆動する社会：
日本経済新聞出版

4-2 起こるかもしれない、ありたい未来の社会の姿を描く

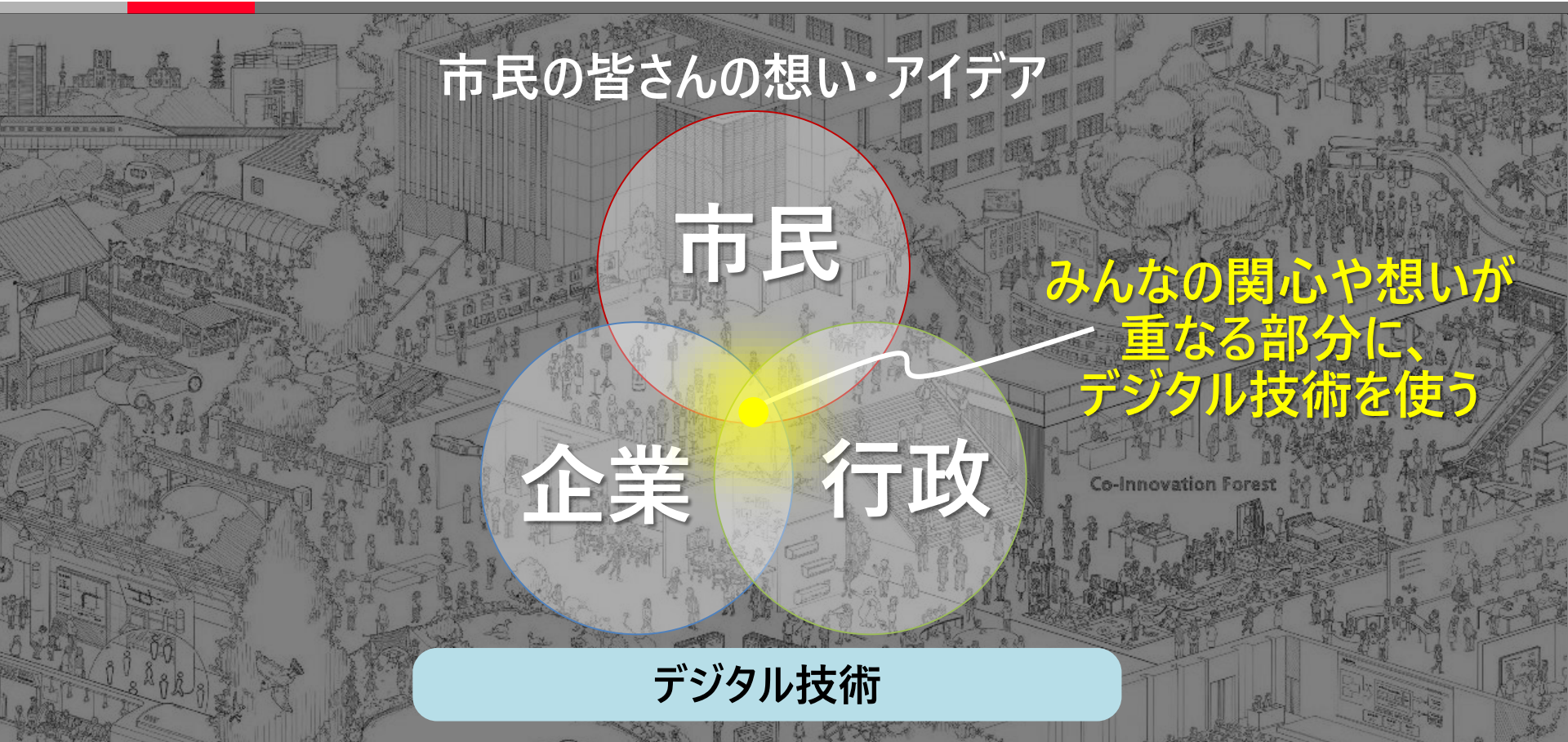
未来のシナリオ：街の安全を守るパトロールロボット

Humanizing public safety

Patrolling robots in the town
provide a visible response and
reassurance to residents



4-3 技術が人に寄り添う、わくわくする社会をともに創る



■ デジタル技術で市民中心のまちづくりを支える取り組み

- (1) ありたい姿を描き、共有する
- (2) 共感する人たちを集めて新たな活動・行動を興す
- (3) デジタル技術を活用し、新しい行動を無理なく始めて継続する

END



技術が人に寄り添う社会をともに創る
市民中心のまちづくりを支えるデジタル技術の可能性

2021/2/13

株式会社 日立製作所 研究開発グループ
社会イノベーション協創統括本部 統括本部長

森 正勝

HITACHI
Inspire the Next 